

### アウエナ ストリゴサ(エンバク野生種)

## ハイオーツ



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風

おすすめの対象

根菜類	アブラナ科	ジャガイモ	ニンニク	長ネギ など

### 雪印種苗の緑肥作物を代表する定番品種

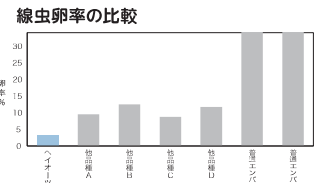
- 根菜類の大敵、カタネグサレセンチュウの対抗植物。
- アブラナ科野菜の根こぶ病の発生を軽減する。
- その他、ジャガイモそうか病やダイコンパーティシリウム黒点病、キャベツパーティシリウム萎凋病軽減効果がある。

播種量	10~15kg/10a ※線虫抑制目的の場合は、15kg/10a		
播種期	春播き	晩夏播き(年内すき込み)	秋播き
寒・高冷地	4月上旬~6月上旬	8月中旬~9月上旬	—
一般地	3月~5月	8月下旬~9月中旬	10月中旬~11月上旬
西南暖地	2月下旬~5月上旬	8月下旬~9月下旬	10月下旬~11月下旬



### ハイオーツはエンバク野生種の中でも線虫抑制効果の高い品種です。類似品にご注意ください。

品種ハイオーツは土壌中の線虫抑制効果が高く、根中の卵率の低い(5%以下)ものを選抜しています。エンバクの品種によってはカタネグサレセンチュウを増殖する恐れがありますので、このような品種の後作に根菜類を栽培することは厳禁です。



土壌中の線虫密度には大差はないが、卵率が異なるため、実際の抑制効果に差が出ます。※ハイオーツは他品種に比べ卵率が低く、線虫抑制に効果を発揮します。(弊社北海道研究農場 1996年)

### エンバク

## たちいぶき

規格: 1kg

- 九州沖縄農業研究センター育成。
- サツマイモネコブセンチュウを抑制。

播種量	6~8kg/10a		
播種期	晩夏播き(年内すき込み)		
一般地	8月下旬~9月上旬		
西南暖地	—		

### エンバク

## スナイパー

PVP  
海外輸出禁止  
(農林水産大臣公印)



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風

おすすめの対象

サツマイモ	トマト	キュウリ	メロン	ニンジン など

### サツマイモネコブセンチュウを抑制する極早生エンバク

- 九州沖縄農業研究センターと共同育成したエンバク。
- サツマイモやウリ科野菜で問題となるサツマイモネコブセンチュウを抑制。
- 生育が早い品種であり、晩夏播きで年内すき込みが可能。

播種量	8~10kg/10a ※線虫抑制目的の場合は、10kg/10a		
播種期	晩夏播き(年内すき込み)	秋播き	
寒・高冷地	8月中旬~9月上旬 <sup>1)</sup>	—	
一般地	8月下旬~9月中旬	—	
西南暖地	9月 9月下旬~10月上旬 <sup>2)</sup> (暖地:種子急など)	10月下旬~11月下旬 <sup>3)</sup>	

※1生育期間が低温期であるため、線虫抑制効果は不安定になります。  
※2九州など秋季温暖な地域では9月中旬~9月末の播種がおすすめです。  
※3秋播きでは線虫抑制効果は期待できません。



### エンバク

## とちゆたか



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風



### 耐倒伏性に優れ、コンニャクなどの防風・防砂に適する

- 直立型エンバクで、間作利用に適する。
- 太葉、太茎のため、敷わら材料に適する。
- 晩夏播きでの有機物の生産量が多く、年内すき込み利用にも適する。

おすすめの対象

防風	など

播種量	間作利用: 3~5kg/10a 散播: 8~10kg/10a		
播種期	春播き	晩夏播き(年内すき込み)	秋播き
寒・高冷地	4月上旬~6月上旬	8月中旬~9月上旬	—
一般地	3月~5月	8月下旬~9月中旬	10月中旬~11月上旬
西南暖地	2月下旬~5月上旬	8月下旬~9月下旬	10月下旬~11月下旬



# ライムギ R-007

(品種 ウィーラー)



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

おすすめの対象

根菜類	レタス	キャベツ	ハクサイ	果樹 など

## キタネグサレセンチュウを抑制し、秋遅くまで播ける極晩生ライムギ

- 秋播きで、根菜類の大敵であるキタネグサレセンチュウを抑制。
- 雪腐病抵抗性に優れるため、積雪地帯にも適する。
- 初夏播きでは作物体が低温に遭遇しないため、出穂せずカバークロープとして利用できる。
- 黒斑細菌病が発病しない。

播種量	6~8kg/10a ※線虫抑制目的の場合は、10~15kg/10a	
播種期	春播き	秋播き
	寒・高冷地	3月下旬~5月上旬 9月上旬~10月中旬
	一般地	2月下旬~4月下旬 9月下旬~12月上旬
	西南暖地	1月下旬~3月下旬 10月~12月

※春播きではキタネグサレセンチュウ抑制効果はありません。



# ライムギ 緑春II

(品種 レンズ アブルツィ)



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

## 早春の低温伸長性が良好な極早生ライムギ

- 早春の低温伸長性が良く、強風から表土を守る。
- 耐寒・耐雪性に優れ、高原野菜の後作に適する。
- 防風、敷わら利用としても適する。



播種量	6~8kg/10a	
播種期	春播き	秋播き
	寒・高冷地	3月下旬~5月上旬 9月上旬~10月中旬
	一般地	2月下旬~4月下旬 9月下旬~12月上旬
	西南暖地	1月下旬~3月下旬 10月~12月

※春播きでは秋播きと比べ、出穂量が少なくなります。

# ライコムギ ライッココ4

(品種 T100) ライッココIII 後継品種



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

## 稈が強く、耐倒伏性に優れ、防風・防砂や敷わら利用に適する

- 早春から生育旺盛な極早生品種。
- 耐寒性に優れ、秋遅くまで播ける(耐雪性は弱いので多雪地帯には不適)。



## カバークロープ利用(初夏播き)



自然草高40cm程度で長期間土壌を被覆

播種期	初夏播き(カバークロープ利用)
寒・高冷地	5月中旬~6月下旬
一般地	5月上旬~6月上旬
西南暖地	3月下旬~5月中旬

※初夏播きではキタネグサレセンチュウ抑制効果はありません。



7月上旬 千葉県での5月上旬播種の事例

7月下旬 上部が枯死し、そのままマルチング

おすすめの対象

防風	敷わら など

播種量	条播 3~5kg/10a (防風利用)	
播種期	秋播き	
	一般地	10月中旬~11月中旬
	西南暖地	10月下旬~11月下旬



## ソルガム つちたろう

(品種 ジャンボ)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



規格: 1kg



播種量	5kg/10a	
	露地	ハウス
播種期	寒・高冷地	5月下旬~7月下旬 5月~7月
	一般地	5月中旬~8月中旬 5月~8月
	西南暖地	5月上旬~9月上旬 5月~8月

### 夏場のサツマイモネコブセンチュウ対抗植物ヘッドレスタイプで長期利用に適する

- サツマイモやウリ科作物で問題となるサツマイモネコブセンチュウに高い抑制効果をもつ。
- 栽培日数50~60日で草丈2m前後まで生育し、生収量5~6t/10aの有機物量を確保できる。
- 防風やドリフトガード、クリーニングクロープ利用ができる。
- ヘッドレス(出穂しにくい)タイプのため、栽培を続けただけ草丈が伸長する。



ドリフトガード利用

## ソルガム 短尺ソルゴー

品種

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



規格: 1kg



### 耐倒伏性に優れ、お茶・園芸作物の防風・ドリフトガードに適する

- 草丈1.5~2.0m前後で止まるため遮光が少なく、刈り込む手間が省ける。
- 出穂後に穂を切り落とすことで、倒れにくくなり長期利用が可能。
- ドリフトガードクロープとして利用した後は、敷きわら利用やすき込み利用ができる。
- IPM(総合的病害虫管理)の取り組みに活用しやすい。



播種量	条播 1kg/10a (防風利用) 散播 4~5kg/10a	
	露地	ハウス
播種期	寒・高冷地	5月下旬~7月下旬 5月~7月
	一般地	5月中旬~8月上旬 5月~8月
	西南暖地	5月~8月

## スーダングラス ねまへらそう

(品種 スーパーダン2)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



規格: 1kg



播種量	5kg/10a	
	露地	ハウス
播種期	寒・高冷地	5月下旬~7月下旬 5月~7月
	一般地	5月中旬~8月上旬 5月~8月
	西南暖地	5月上旬~8月中旬 5月~8月

### 夏場のキタネグサレセンチュウを抑制するスーダングラス

- 品種ヘイオーツの生育が緩慢となる夏場においてキタネグサレセンチュウの抑制効果を発揮する。
- サツマイモやウリ科作物で問題となるサツマイモネコブセンチュウを抑制する。
- 晩生品種であるため、出穂が遅く長期利用が可能。
- 茎が細く、分けつが多い。



## ソルガム グリーンソルゴー

(品種 スーパーダン)

規格: 1kg

- 早生品種であり、初期生育が優れる。
- 有機物補給に適する。

播種量	4~5kg/10a	
	露地	ハウス
播種期	寒・高冷地	5月下旬~7月下旬 5月~7月
	一般地	5月中旬~8月上旬 5月~8月
	西南暖地	5月~8月

## ソルガム テキサスグリーン

規格: 1kg

- 有機物補給に適する。

播種量	4~5kg/10a	
	露地	ハウス
播種期	寒・高冷地	5月下旬~7月下旬 5月~7月
	一般地	5月中旬~8月上旬 5月~8月
	西南暖地	5月~8月

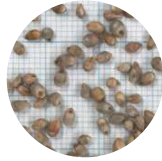


パールミレット

# ネマレット

(品種 ADR300)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



おすすめの対象

根菜類	ブロッコリー	ニンニク
ネギ	菊	サトウキビ など

規格: 1kg

## 線虫抑制効果と栽培のしやすさを併せもつ

- 根菜類の大敵であるキタネグサレセンチュウを抑制。
- サツマイモやウリ科作物で問題となるサツマイモネコブセンチュウを抑制。
- 茎葉が軟らかくてすき込み作業がしやすく、C/N比が低いため、土壌中で分解しやすい。
- 酸性土壌・粘土質土壌でも健全に生育する。
- 播種後2か月で出穂し、短期間で有機物量を確保できる。

播種量	4kg/10a	
播種期	寒・高冷地	6月上旬~7月下旬
	一般地	5月下旬~8月中旬
	西南暖地	5月中旬~9月上旬



## 土壌を選ばず良く生育する

- 酸性土壌 かつ 粘土質土壌



ネマレット

他品種A

- ソルガム類の「いや地」発生圃場



ネマレット

他品種B

ネマレット 他品種C

播種1か月後の様子(宮崎県)

pH4台の酸性かつ粘土質の土壌が広がる奄美群島における栽培試験で、短期間に有機物量が確保できることを確認しました(2か月の栽培で生収量およそ6t/10a)。

ソルガム類のいや地発生圃場で見られる生育停滞や赤紫色を呈する症状が「ネマレット」には見られません。

ギニアグラス

品種

# ソイルクリーン



春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

規格: 1kg

## 生育旺盛で安定した線虫抑制効果をもち併せた品種

- 各種ネコブセンチュウ(サツマイモネコブ、ジャワネコブ、キタネコブセンチュウ)抑制効果が高く、キタネグサレセンチュウ抑制効果もある。
- 短期多収型であるため、ソルガムの代替として利用可能。
- 従来のギニアグラスよりも初期生育が早く、雑草競合に対しても優れる。

※出穂後すぐに結実して雑草化するリスクがあるため、出穂開始までにすき込みを終えてください。  
※播種後に土壌が乾燥していると種子が休眠しやすくなるため、圃場水分に注意が必要です。



播種量	条播	0.3~0.5kg/10a
	散播	1.0~1.5kg/10a
播種期	寒・高冷地	6月下旬~7月上旬
	一般地	6月上旬~8月上旬
	西南暖地	5月中旬~8月中旬

おすすめの対象

根菜類	トマト(ハウス)	キュウリ(ハウス) など
-----	----------	--------------

ギニアグラス

品種

# ナツカゼ

規格: 1kg

- 九州沖縄農業研究センター育成。
- サツマイモネコブセンチュウを抑制。

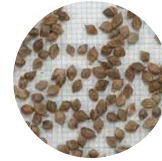
※出穂後すぐに結実して雑草化するリスクがあるため、出穂開始までにすき込みを終えてください。  
※播種後に土壌が乾燥していると種子が休眠しやすくなるため、圃場水分に注意が必要です。

播種量	条播	0.3~0.5kg/10a
	散播	1.0~1.5kg/10a
播種期	寒・高冷地	6月下旬~7月上旬
	一般地	6月上旬~8月上旬
	西南暖地	5月中旬~8月中旬

ヒエ

品種

# 青葉ミレット



春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

規格: 1kg

## 環境適応性が高く、耐湿性に優れる

- 耐湿性に優れるため、天候不良が続いても短期間で十分な生育量を確保できる。

※雑草化する可能性があるため、周辺で水廻りが作付けされている場合は使用にご注意ください。



湛水状態でも生育する

播種量	3~5kg/10a	
播種期	寒・高冷地	6月上旬~7月上旬
	一般地	5月中旬~7月中旬
	西南暖地	5月中旬~7月下旬



## オオムギ らくらくムギ

(品種 ラマタ)



春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

規格: 1kg

### 春播きで自然草高は約30cm 地表を覆いながら夏の暑さで自然枯死

- 春播きすることで、ほとんど出穂しないためコンニャクやネギなどの間作および休閑地のカバークロープに適する。
- 夏の暑さで自然枯死し、すき込みが省力的。
- 地表を覆うことで、雑草抑制、高温期の地温抑制や保水効果が期待できる。
- 天敵温存植物(天敵を誘引し、定着・増殖場所となる植物)として活用できる。



コンニャクの間作に

播種量	間作	3~5kg/10a
	散播	8~10kg/10a
播種期	寒・高冷地	5月中旬~6月下旬*
	一般地	4月上旬~6月中旬
	西南暖地	3月下旬~5月中旬

\*気象条件によっては枯れあがらない場合があります。

## テフグラス

### 品種 トップガン ST-1 後継品種

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

規格: 1kg

### 夏播きで自然草高は最大で約70cm 草生栽培やカバークロープに

- 発芽、生育が早く短期間(播種後40日前後)ですき込み可能。
- 茎が細く、柔らかいためすき込みが容易。
- 果樹や茶類の草生栽培におすすめ。
- 耐湿性に優れる。

\*寒・高冷地では種子が結実し、雑草化するリスクがあるため出穂したらすき込んでください。



野菜類の間作に

播種量		1~2kg/10a(コート種子)
播種期	寒・高冷地	6月上旬~7月上旬
	一般地	5月中旬~7月中旬
	西南暖地	3月下旬~9月下旬



## ヘアリーベッチ

地力回復・向上が期待できるマメ科緑肥作物

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

- 水はけの良い土壌を好む。
- 根粒菌によって空中窒素を土壤に固定し、地力増進の効果を発揮する。後作物の減肥に役立つ。
- アレロパシー効果による一年生雑草抑制が期待できる。
- 藤色の花が咲き、景観美化や蜜源植物として利用できる。
- 黒斑細菌病が発病しない。(※ハングビローサは未試験のため該当しない)

\*牛が生で摂取すると、中毒を起こすことがあります。放牧などには適しません。

播種量	3~5kg/10a		
播種期	春播き	晩夏播き <sup>※1</sup> (年内すき込み)	秋播き <sup>※2</sup>
	寒・高冷地	4月上旬~5月上旬	8月中旬~9月上旬
	一般地	3月上旬~4月上旬	8月下旬~9月中旬
	西南暖地	2月中旬~3月下旬	9月中旬~11月下旬

\*1 晩夏播きは年内開花しません。  
\*2 「藤えもん」と「まめ助」は冬期の気象条件によって越冬割合が異なります。  
(多雪地域では越冬不可)



藤えもん(※マツサ)

## 藤えもん

(品種 マツサ) 規格: 1kg



### 低温伸長性と耐湿性に優れた早生品種

- 生育、開花が早いので、早期すき込みに適する。
- 寒太郎との混播利用で長期的な開花リレーが可能。



## まめ助

(品種 ナモイ) 規格: 1kg



### 生育旺盛な早生品種

- 雑草との競合に優れ、雑草抑制効果が高い。



## 寒太郎

(品種 サバン) 規格: 1kg



### 越冬性に優れた晩生品種

- 越冬性に優れ、積雪地帯での秋播き越冬栽培が可能。
- 晩生品種で生育期間が長いので、早生品種に比べて長期にわたり雑草抑制効果が期待できる。
- 藤えもんとの混播利用で長期的な開花リレーが可能。花の位置が高いため、蜜源植物としての適性が高い。

## ハングビローサ

品種 規格: 1kg



水田へのヘアリーベッチ導入についてはP44-47へ

品種紹介  
イネ科

品種紹介  
マメ科



ペルシアンクローバ

# まめ小町

(品種 Mame-Komachi)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



規格: 1kg

おすすめの対象

大豆	エダマメ	インゲン	水稲 など
----	------	------	-------

播種量	2~3kg/10a		
播種期	春播き	晩夏播き <sup>※1</sup> (年内すき込み)	秋播き <sup>※2</sup>
	寒・高冷地	4月上旬~5月上旬	8月上旬~9月上旬
	一般地	3月上旬~4月上旬	8月下旬~9月中旬
	西南暖地	2月下旬~3月下旬	9月中旬~10月中旬

※1 晩夏播きは年内開花しません。  
※2 播種期間が100日を超える地域では越冬性が低くなる場合があります。

## ピンク色の香しい花が特徴的なクローバ ダイズシストセンチュウを抑制する

- 転換畑などの湿害が生じやすい圃場でも枯死することなく生育する。
- ダイズシストセンチュウの抑制効果が高い。
- ピンク色で芳香性のある花が約1か月咲き、景観美化や蜜源植物として使用できる。
- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。

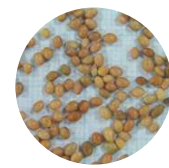
※播種時期に停滞水が発生するような環境下では栽培に適していません。



クリムソクローバ

品種

# くれない



規格: 500g

おすすめの対象

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

おすすめの対象

大豆	エダマメ	インゲン	水稲 など
----	------	------	-------

## 深根性の一年生クローバで耐寒性に優れる ダイズシストセンチュウを抑制する

- 深根性の一年生クローバ。
- ダイズシストセンチュウの抑制効果が高い。
- 一般地や西南暖地では、晩夏播きでも越冬栽培が可能で長期利用できる。
- 深紅の花が咲き、景観美化に適する。
- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。

播種量	2~3kg/10a		
播種期	春播き <sup>※1</sup>	晩夏播き <sup>※2</sup> (年内すき込み)	秋播き <sup>※3</sup>
	寒・高冷地	4月上旬~5月上旬	8月中旬~9月上旬
	一般地	3月上旬~4月上旬	8月下旬~9月中旬
	西南暖地	2月下旬~3月下旬	9月中旬~10月中旬

※1 春播きの開花期は、秋播きよりも約15~20日遅くなり、開花数が減ります。  
※2 晩夏播きは年内開花しません。  
※3 播種期間が100日を超える地域では越冬性が低くなる場合があります。



## 耐湿性が比較的高い

幼苗期に2週間湛水処理を行った結果・・・  
クリムソクローバでは湛水処理で生育が停滞したものの、「まめ小町」ではむしろ生育量がやや増加する傾向にありました。  
秋田県での転換畑でも健全に生育することを確認しています。

まめ小町

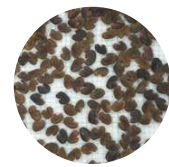
対照区 (通常灌水)	水位 -5cm区	水位 0cm区
---------------	-------------	------------

クリムソクローバ

対照区 (通常灌水)	水位 -5cm区	水位 0cm区
---------------	-------------	------------

レンゲ

# レンゲ



規格: 1kg

おすすめの対象

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風



## 水田緑肥、景観美化に

- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。
- 春にピンク色の花が咲き、景観緑肥として楽しめる。

おすすめの対象

水稲 など
-------

播種量	3~4kg/10a	
播種期	寒・高冷地	8月中旬~9月上旬
	一般地	9月上旬~10月上旬
	西南暖地	9月中旬~10月下旬

※春播きは低草丈で開花数が少なく、雑草に負ける場合があるため不適です。

品種紹介  
マメ科

品種紹介  
マメ科



## クロタラリア スペクタビリス

品種

# ネマックス



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

### 多種の線虫に抑制効果を発揮 夏場の地力増進作物に

- 線虫抑制効果の幅が広く、ネコブセンチュウ(サツマイモ、キタ、ジャワ、アレナリア)、ネグサレセンチュウ(ミナミ、クルマ)、ナミシチュクセンチュウ、ダイズシストセンチュウに高い効果を示す。
- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。
- 晩生品種で開花始めは初秋である(短日条件で開花)。
- すき込みは播種後60~80日程度、草丈1.2~1.5mが目安。



播種量	6~9kg/10a
播種期	寒・高冷地 7月(ハウス6~7月)
	一般地 5月下旬~8月上旬
	西南暖地 5月上旬~8月中旬 (沖縄・奄美群島2月下旬~9月下旬)

※特に暖地(南西諸島)の場合、播種時期によって播種後30日、草丈30cm程度で着苗し、地上部収量が得られない場合があります。

## クロタラリア ジュンシア

品種

# ネマコロリ



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

### 夏のマメ科緑肥作物の中で初期生育が早い サツマイモネコブセンチュウ対策に

- サツマイモネコブセンチュウを抑制する。
- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。
- サトウキビ畑の有機物補給に適する。



播種量	6~8kg/10a
播種期	寒・高冷地 7月(ハウス6~7月)
	一般地 5月中旬~8月上旬
	西南暖地 5月上旬~8月中旬 (沖縄・奄美群島2月下旬~9月下旬)

## セスバニア

品種

# 田助



規格: 1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロープ	景観	湿害耐性	防風

### 耐湿性に優れる 水田転換畑での耕盤破碎におすすめ

- 耐湿性に優れるため、水田転換畑での生育が旺盛。
- 直根が田んぼのすき床層を貫通し、透水性や通気性を改善。
- 夏のマメ科の中では初期生育が良好で、草丈は1.5~2.0m、すき込み量は2.5~3.0t/10aほどになり、良質な有機物を補給できる。
- 根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化する。後作物の減肥に役立つ。

※2023年から根粒菌が別売りになりました。

播種量	条播	4kg/10a
	散播	5kg/10a
播種期	寒・高冷地	6月中旬~7月中旬
	一般地	5月下旬~7月下旬
	西南暖地	5月上旬~8月中旬



### クロタラリア・セスバニアの根耕効果

直根性のマメ科長大作物で、耕盤破碎に一役かいます。北陸地域に広がる粘土質地帯においてもその効果を発揮しています。



耕盤まで根が入る

直根性の根の様子(品種田助)

(例) 千葉県黒ボク土で品種ネマコロリを105日栽培した際の土壌断面図。  
地上部草丈: 228cm  
根の下端: 深さ100cm

写真およびデータ提供: 千葉県農林総合研究センター



### クロタラリア・セスバニアのすき込み方法

立毛状態のままロータリーですき込もうとすると、茎の繊維がロータリーの軸にからまって機械に負荷がかかる場合があります。そのため、すき込む前に地上部を細断してください。細断に用いる機械はフレールモアやハンマーナイフモアです。※開花期を迎えると一層繊維質が多くなり、機械に大きな負荷がかかります。開花期前のすき込みがおすすめです。

すき込む前に細断!



フレールモア



自走式のハンマーナイフモア



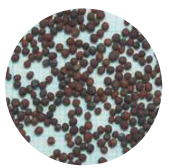
サツマイモのつる刈機(細断機の代用)



カラシナ

品種  
**辛神** PVP  
海外輸出禁止  
(農林産品公認)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風



規格:500g

おすすめの対象

ネギ	トマト	サツマイモ	ホウレンソウ
ゴボウ	ジャガイモ		

辛味成分高含有品種で  
土壌病害・線虫の抑制効果大

- 辛味成分(グルコシノレート)を含み、土壌にすき込むことで、土壌病原菌による被害の軽減が期待できる。
- ジャガイモ黒あざ病、ホウレンソウ萎凋病、トマト青枯病、サツマイモ紫紋羽病、サツマイモネコブセンチュウおよびネギ黒腐菌核病の被害軽減が期待できる。
- 葉が柔らかく、すき込み後の分解が早い。

※アブラナ科野菜と共通病害虫(根こぶ病などの病害やコナガなどの害虫)が発生するため、播種予定地の近くにアブラナ科野菜がある場合や、根こぶ病発生履歴のある圃場での栽培はお控えください。



上手な利用方法

- ①肥料不足では「辛神」の生育量をかせげない  
地力が低い、あるいは残肥が期待できない圃場では「辛神」への元肥をN-P-K 各5kg/10a施肥することをおすすめします。
- ②すき込み適期は着蕾期  
生育量が多く、辛味成分(グルコシノレート)含量が最も高い時期です。
- ③すき込み直前に細断する  
フレールモアなどで細断して作物体を傷つけることで、有効成分であるガス(イソチオシアネート)が多く発生します。フレールモアで細断できない場合は、ロータリー2回がけをして土壌とよく混和してください。細断後に発生するガスを土壌にとどめるため、すき込み直前の細断がおすすめです。



着蕾期



フレールモアでの細断

露地の場合↓

- ④降雨の前にすき込む  
水分が多い条件下で有効成分のガス化が促進されます。
- ⑤すき込み後に鎮圧する  
鎮圧することで、土壌での分解中に発生するガスをできるだけ土壌内にとどめることができます。
- ⑥作物の播種/定植はすき込み3~4週間後が目安

ハウスの場合↓

- ④すき込み直後に散水する  
水分が多い条件下で有効成分のガス化が促進されます。
- ⑤約2週間ビニールで被覆する  
被覆することで、土壌での分解中に発生するガスをできるだけ土壌内にとどめることができます。
- ⑥作物の播種/定植はビニール被覆を外した1~2週間後が目安

! 播種/定植前に耕起を行う場合は、殺菌されていない下層土が混ざらないようにしてください!

シロガラシ

品種  
**キカラシ**  
(品種 メテックス)



規格:1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風

発芽・初期生育が旺盛な  
アブラナ科緑肥作物

- 黄色の花を一面に咲かせ、景観緑肥として適する。
- 春播きでは播種後50~60日で開花する。

※アブラナ科野菜と共通病害虫(根こぶ病などの病害やコナガなどの害虫)が発生するため、播種予定地の近くにアブラナ科野菜がある場合や、根こぶ病発生履歴のある圃場での栽培はお控えください。



播種量	2~3kg/10a		
	春播き*	秋播き	
播種期	寒・高冷地	4月上旬~5月中旬	—
	一般地	3月	11月中旬~12月上旬
	西南暖地	2月下旬~3月中旬	11月下旬~12月中旬

※春播きの開花期は、秋播きよりも15~20日遅くなります。  
※春播きでは虫害の発生が予想されるため注意してください。

ハゼリソウ

品種  
**アンジェリア**



規格:1kg

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークロップ	景観	湿害耐性	防風

防砂・土壌流出防止、景観美化に適する

- 発芽・初期生育が旺盛な草種。
- 地表の被覆が早いので、防砂・土壌流出対策、雑草抑制効果が期待できる。
- 紫色の花を一面に咲かせ、景観美化に適する。
- 長ネギの前作に栽培すると、増収と品質の向上が期待できる。
- ネギハモグリバエの天敵の寄生蜂が花に飛来する。天敵温存植物(天敵を誘引し、定着・増殖場所となる植物)として活用できる。
- 黒斑細菌病が発病しない。

おすすめの対象

ネギ	寄生蜂
----	-----



播種量	2~3kg/10a		
	春播き*	秋播き	
播種期	寒・高冷地	4月上旬~5月中旬	—
	一般地	3月~4月	11月
	西南暖地	2月下旬~3月中旬	11月下旬~12月中旬

※春播きの開花期は、秋播きよりも約15~20日遅くなり、開花数が減ります。

品種紹介 その他

品種紹介 その他



## ヒマワリ サンマリノ

(品種 NSデュカット)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークローブ	景観	湿害耐性	防風



規格:500g



### 草丈150cm前後で開花し、 景観美化に適する

- 従来の景観用ヒマワリに比べて開花が早く、草丈も低い品種。
- 一般地の5月播きで播種後55日程度で開花する。

※パーティシリウム半身萎凋病に対する抵抗性が弱い、本病発生履歴のある圃場での栽培はお控えください。

### 一般地・西南暖地では秋にヒマワリが楽しめる



9月上旬に播種すると、2か月後の11月上旬に奇麗な花を咲かせます。この場合、草丈は1m前後と夏播きの時よりもさらに低く、扱いやすくなります。また、この時期は気温が低いため、開花を3週間ほど楽しめます。  
※生育途中で降霜に遭うと、枯死してしまうため注意してください。

播種型	条播	1.0~1.5kg/10a
	散播	1.5~2.0kg/10a
播種期	寒・高冷地	5月中旬~8月上旬
	一般地	5月上旬~9月上旬
	西南暖地	4月中旬~9月中旬

## ヒマワリ NSクルナ

(品種 NS Kruna)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークローブ	景観	湿害耐性	防風



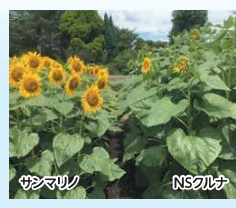
規格:500g



### パーティシリウム半身萎凋病抵抗性をもつ

- 一般地の5月播きで播種後60日程度で開花する。
- 草丈は180~200cm程度と大柄であるため有機物補給としても利用できる。

### NSクルナとサンマリノの違い



NSクルナの方が・・・

- ・草丈が約30cm高い。
- ・開花日数が約6日遅い。
- ・花の大きさは同等。

播種型	条播	1.0~1.5kg/10a
	散播	1.5~2.0kg/10a
播種期	寒・高冷地	5月中旬~8月上旬
	一般地	5月上旬~8月中旬
	西南暖地	4月中旬~8月下旬

## マリーゴールド アフリカントール

(品種 クラッカージャックダブルミックス)

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークローブ	景観	湿害耐性	防風



規格:1L



### 各種線虫を抑制する

- 栽培日数80日前後でネコブセンチュウ(サツマイモ、ジャワ、アレナリア)、キタネグサレセンチュウを抑制。



播種量	1~2L/10a	
播種期	寒・高冷地	6月
	一般地	5月下旬~7月上旬
	西南暖地	5月上旬~7月中旬

### コスモス

## センセーション ミックス

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークローブ	景観	湿害耐性	防風



規格:1kg、1L



- 初期生育が早く、丈夫で栽培しやすい。
- 秋に綺麗なミックス色のコスモスの畑を作り出す。

播種量	2kg (4L) /10a	
播種期	寒・高冷地	5月上旬~7月中旬
	一般地	4月中旬~7月中旬
	西南暖地	4月中旬~7月中旬

## スノーミックスフラワー 花壇用

春播き	夏播き	晩夏播き	秋播き
線虫抑制	病害抑制	窒素供給	塩類除去
カバークローブ	景観	湿害耐性	防風

規格:1dl



- 園芸用草花の中から痩せ地や放植にも耐える草花を独自にブレンド。
- 手をかけずに美しい花を咲かせ、野生の草花が咲き乱れるような景観を作り出す。

播種量	20dl/10a		
播種期		春播き	秋播き
	寒・高冷地	5月中旬~7月中旬	—
	一般地	3月下旬~6月下旬	9月上旬~10月中旬
	西南暖地		

品種紹介  
その他

品種紹介  
その他